



曾 補

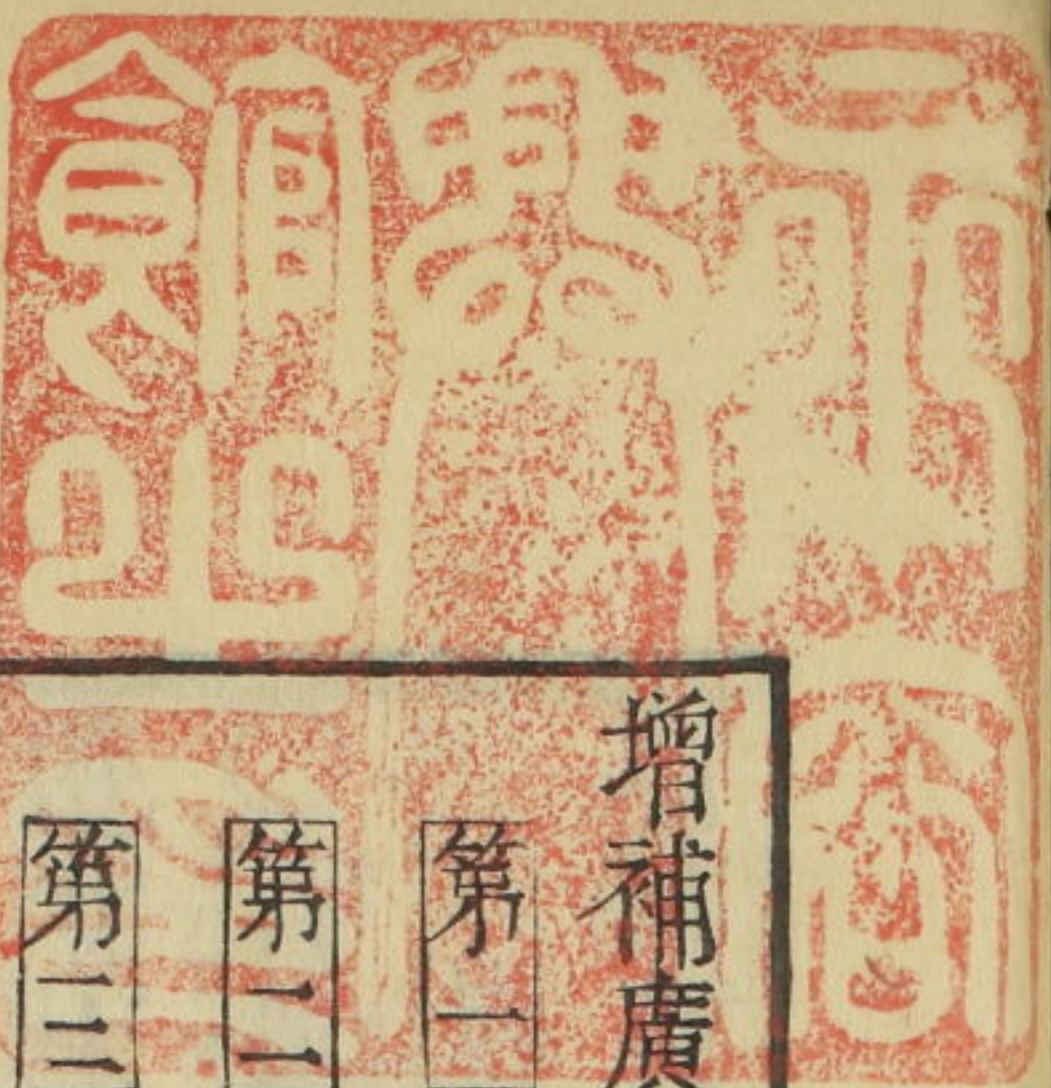
廣類願體俚諺鈔

後集 卷四

1-9
822
14



門 9
號 822
卷 14



增補廣類願體俚諺鈔卷四目

後編

第十	第九	第八	第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一
飲食章	火燭章	訟事章	防患章	惜字章	報施章	戒殺章	經營章	事業章	嫖賭章
卅三葉	卅二葉	卅一葉	廿八葉	廿五葉	廿四葉	廿一葉	六葉	四葉	二葉
四段	三段	二段	六段	三段	八段	二段	五段	六段	五段

願體俚諺鈔卷四後編

目

第十二 輕生章 卅五葉 二段

第十三 婦道章 卅六葉 二段

第十四	待奉章	卅七葉	二段
第十五	遊園章	卅八葉	六段
第十六	遊園章	卅九葉	三段
第十七	遊園章	四十葉	八段
第十八	遊園章	四十一葉	二段
第十九	遊園章	四十二葉	五段
第二十	遊園章	四十三葉	六段
第二十一	遊園章	四十四葉	五段
第二十二	遊園章	四十五葉	五段
第二十三	遊園章	四十六葉	五段
第二十四	遊園章	四十七葉	五段
第二十五	遊園章	四十八葉	五段
第二十六	遊園章	四十九葉	五段
第二十七	遊園章	五十葉	五段
第二十八	遊園章	五十一葉	五段
第二十九	遊園章	五十二葉	五段
第三十	遊園章	五十三葉	五段
第三十一	遊園章	五十四葉	五段
第三十二	遊園章	五十五葉	五段
第三十三	遊園章	五十六葉	五段
第三十四	遊園章	五十七葉	五段
第三十五	遊園章	五十八葉	五段
第三十六	遊園章	五十九葉	五段
第三十七	遊園章	六十葉	五段
第三十八	遊園章	六十一葉	五段
第三十九	遊園章	六十二葉	五段
第四十	遊園章	六十三葉	五段
第四十一	遊園章	六十四葉	五段
第四十二	遊園章	六十五葉	五段
第四十三	遊園章	六十六葉	五段
第四十四	遊園章	六十七葉	五段
第四十五	遊園章	六十八葉	五段
第四十六	遊園章	六十九葉	五段
第四十七	遊園章	七十葉	五段
第四十八	遊園章	七十一葉	五段
第四十九	遊園章	七十二葉	五段
第五十	遊園章	七十三葉	五段
第五十一	遊園章	七十四葉	五段
第五十二	遊園章	七十五葉	五段
第五十三	遊園章	七十六葉	五段
第五十四	遊園章	七十七葉	五段
第五十五	遊園章	七十八葉	五段
第五十六	遊園章	七十九葉	五段
第五十七	遊園章	八十葉	五段
第五十八	遊園章	八十一葉	五段
第五十九	遊園章	八十二葉	五段
第六十	遊園章	八十三葉	五段
第六十一	遊園章	八十四葉	五段
第六十二	遊園章	八十五葉	五段
第六十三	遊園章	八十六葉	五段
第六十四	遊園章	八十七葉	五段
第六十五	遊園章	八十八葉	五段
第六十六	遊園章	八十九葉	五段
第六十七	遊園章	九十葉	五段
第六十八	遊園章	九十一葉	五段
第六十九	遊園章	九十二葉	五段
第七十	遊園章	九十三葉	五段
第七十一	遊園章	九十四葉	五段
第七十二	遊園章	九十五葉	五段
第七十三	遊園章	九十六葉	五段
第七十四	遊園章	九十七葉	五段
第七十五	遊園章	九十八葉	五段
第七十六	遊園章	九十九葉	五段
第七十七	遊園章	一百葉	五段

增補廣類願體俚諺鈔卷四

第一 嫖賭章

○青樓翠館ノ遊但行跡ヲ亂スノミニアラス。此中ノ遊女十カ七八清カラサル病アルユヘ。嫖客其毒ニ染時ハ病發瘡生ス。諸人コレヲ憎嫌テ。座ヲ同シテ食ヲ共ニセス。此病ヲ得ル人大ヒナル時ハ命ヲ喪ヒ小キナル時ハ。回斃ル。幸ニシテ。無事ナル時ハ又其毒ヲ移シテ。其害妻子ニ及ブ。嗚呼慎ベシ

○人一ツノ好コアレバ。即一ツノ累アリ。古ヨリ賭ヲシテ。世ヲ渡ル流儘多シ。コレヲ賭漢ト稱シテ。賊ト等キ惡黨ナリ。若人有テ。此輩カ爲ニ哄レ。一タヒ其場ニ

入ル時ハ自ラ興フ得テ再ヒ休ルヲ能ス。初ハ贏ヲ得
テ。利ヲ見ルヲアレド。是ハ賭漢等カ詐ノ計ニシテ。其新
客ヲ悦セテ。誘入レンカ爲ナリ。コノ計ヲ名テ。將取
姑與ノ計ト云。此義ハ取ントシテ。姑ク興ルト云フ意
ナリ。彼新客未タ賭漢等カ手段ヲ知ラス。初利ヲ
得タルヲ斜ナラス悦。當世種々ノ商賣アリト云ヘモ
利ヲ得ルヲハ少ナリ。博奕ハ其日ノ造化ニ因テ。若
干ノ銀ヲモ贏ベキ者ナリ。我早クモ斯ルヲ知リ
ナバ。商賣ヲ休テ。賭ヲセシニト。心ソバロニ騷立テ。此
ヨリハ親類ノ諫ヲモ容ス。朋友ノ誘ヲモ耻ス。晝夜
其場ニ在テ賭シ。久シカラスシテ。金銀財寶盡ク打

輸令憂誰ヲ頼ベキヤウモナク。終ニ家ヲ亡シテ流涕ノ
身トナリ。先祖ノ名ヲモ汚スナリ。凡ノ賭ヲスル人動ス
レバ。慰ト云テ。回ニ耻ル色モナシ。慰ト云ハ。假名ニシ
テ實ハ。コレ利欲ノ爲ナリ。人未タ賭ニ贏タル銀ハ。不
義ノ財タルヲ知ラサルユヘ。英傑好漢誤テ。コレヲ好
ム若疾不義ノ財タルヲ知リテ。尚此利ヲ貪ハ。則不
義ノ輩ニシテ。齒ニ掛ルニ足ス。昔聞スヤ。朱ニ近ケバ。
赤ク。賭ニ近ケバ。賊スト云フ。我願クハ賭漢ヲ避
ル。千里ニシテ。目ニコレヲ見ズ。耳ニコレヲ聽ス。永ク
後世ノ英傑ヲシテ。此場ニ入ラシメサルヲ欲ス。
○凡ノ一切ノ遊錢ヲ以テ。賭スル時ハ。碁象碁ニ限ス。

則コレ博奕ナリ。此道ニ意ヲ寄ル時ハ。家業ヲ忘レテ。破落戸トナル。縦ヒ已カ手段ヲ以テ。若輩者ノ銀ヲ贏タリ。他日又已ガ手段ヨリ勝レタル者ニ逢テ。輸ヲ取ルコアルベケレバ。賭ヲシテ。利ヲ得ン。殊ニ難シト知テ。必スコレヲ休ムベシ。

○賭ヲ好人先輸ン。フ思出ス時ハ。其念自ラ息嫖ヲ好人先費ヲ思ヒ出ス時ハ。其念自ラ消ス。若費ヲ思フ計ニテハ。其念消シガタクンバ。萬一毒ヲ受テ。瘡生ジナハ。面皮ヲ壞フ。ノミニアラス。身ニ痲苦ヲ受ケテ。害妻子ニ及ジ。フ思ヒ出スベシ。如此時ハ。必ズ其念消ス。若尚消セズンバ。其人原太愚人コレヲ治スベシ。

キ藥ナシ。

○子孫ノ錢財ハ祖父辛勤拮据テ貯シ者ナルニ。子孫ニ愚ナル者アル時ハ。金銀ヲ使フ沙ノ如クニシテ。少シモ憚ラナシ。第一賭嫖ノニツヲ好ム時ハ。車千輛ノ財モ朝ニ費シテ。夕ニ盡ス。賭ハ利ヲ以テ。人ヲ惑シ。嫖ハ色ヲ以テ。人ヲ惑ス。智アル人ハ。一たび此道ニ入ルト云ヘ。死後自ラ省悟シテ。能休ルコトアリ。智ナキ人ハ。愈入レバ。愈溺身ヲ終ルマデ。休ルコト能ス。嘆スベシ。嘆スベシ。

第二 事業章

○業ヲ立ルコトハ。易ケレ。死守成ト難シ。業ヲ立上云ハ

相應ノ家業ヲ立ルヲ云。家業ヲ立ルト云へ凡コレヲ守ル
ル一堅ラザレバ。其業成就せず。故ニ守成一カタシト云。
譬ハ祖父家業ヲ立テ。子孫ニ傳ル。子孫ハ祖父ノ家訓
ニ違スシテ。能守ル時ハ家業愈成テ。富饒ニ盛ヘ。人
ヲシテ羨シム。子孫コレヲ守ラズシテ。或ハ驕リ。或ハ怠
ル時ハ。祖父ノ立シ家業一旦ニ亡ス。我竊ニ以ルニ。祖
父ノ家業ヲ受ル者ハ。世ニ許多コレアリト云へ凡。コ
レヲ守ル一能ス。未タ年月ヲ經スシテ。遂ニ家ヲ敗ル。
如此子孫勝テ數フベカラス。所以ニ業ヲ立ルハ。易シ
テ。守成ヲ難シトス。子孫タラン者。先祖ヨリモ。聰明ナ
ルハ少ナリ。只空ク先祖ノ舊規ニ依テ。家ヲ守ルベシ。

若已カ智恵ヲ出シテ。舊規ヲ改ル一アラハ。家殆危ラン。
况ヤ聖人モ。三年無改於父之道。可謂孝。曰ヌ。人皆此
理ヲ曉シテ。宜ク守ルベシ。
○人ハ貴賤ヲ論セス。各ナス所アリ。若能飽食煖衣。バ
別ニ何ノ望カアラント云テ。慈悲善根ヲナサズンバ。必
善果ヲ得ル一難ルベシ。
○事ハ人ニ在テナス。コレヲ成就セシムル者ハ天ナリ。福ハ
天ヨリ降ル。コレヲ格ク者ハ人ナリ。事ナス一能サル所ノ
者ハ。天命ナリ。事ナス一能フ所ノ者ハ。天理ナリ。命制
スル一能フ所ノ者ハ。人欲ナリ。命制スル一能サル所ノ
者ハ。人道ナリ。

○朱門ニ餓殍ヲ生ジ。白屋ニ公卿ヲ出ス。或ハ未タ盡ク然ラスト云ヘ。凡ソ貧シテ後富富テ後貧キハ。恰モ暑往寒來ノ理ノ如シ。因テ先祖ハ朱門ヲ立テ。富貴ノ家ナレ。子孫衰ヘテ。今ハ餓殍ヲ生ス。先祖ハ白屋ニ居シテ。貧賤ノ家ナレ。子孫興テ。今ハ公卿ヲ出ス。是皆天命ト云ナカラ。或ハ又先祖ニ陰徳アルト。陰惡アルトニ因テ。子孫善惡ノ報同ジカラス。若報ナキト云ハ。子孫ヲ殺スニ似タリ。

○凡ソ世間ノ事業都テ辛苦ノ中ヨリ創出シ來ル。創出シ來ル者ハ。守ル者ノ難ヲ許ベシ。人家ノ尙尙都テ謹慎ノ中ヨリ守リ出シ來ル。守ル者ハ創出シ者ノ苦ヲ念ベシ。

創出シ者ハ先祖守ル者ハ子孫ナリ

○一日ノ飯ヲ吃セバ。一日ノ飯錢ヲ賺出ス。計ベシ。必ス虚ク暮シ。虚ク費ス。ナカレ

第三 經營章

○百文ノ錢ヲ二處ニ放ト云フ。尤世俗ノ語ナレ。理ニ於テ甚當レリ。但錢財ノ三ニ限ス。譬ハ三人ノ子ヲ生ジ。其賢愚ヲモ察セズシテ。能ハサルヲ教ル。大ニ不可ナリ。愚ナルニハ。做易キ經營ヲ教ヘ。賢ニハ。讀書ヲ教ヘ。如此品ヲ換テ。學シムル時ハ。其學事成就シテ。各生活ノ道ヲ知ル。是乃千百文ノ錢ヲ二處ニ放置道理ナリ。一切ノ事。皆此ヲ以テ。法トスル時。自ラ

過アラス

○旅ニ出ル人。旱路ハ車馬ヲ以テシ。水路ハ船楫ヲ以テシ。各身ヲ保ノ法ヲ知テ。過ナシト云ヘ。人唯人ヲ恐レズシテ。大事ヲ作出スナリ。身ニ財寶ヲ携サル時ハ。人ヲ恐ルベキヤウナケレ。若。財寶ヲ携タル時ハ。コレヲ露シテ。人ノ目ニ見セシムルコトナカレ。恐クハ。小人有テ。コレヲ窺ハ。盗取ント圖ルベシ。若。道中ニ於テ。跟從ツテ。疑キ者伴ハ。意ヲ留テ。油斷セス。一同ニ行サル如ク。ニ避違ベシ。若。宿ヲ借ハ。輻湊ノ地ノ富ル家ヲ借ルベシ。必ス偏僻ノ地ノ貧キ家ヲ借ルベカラズ。已ニ宿ヲ借リシ。ムナラバ。前後左右ヲ看届テ。能胸中ニ覺ヘ。若。夜中

ニ事起ハ。春覺タル路ヨリ。逃出ベシ。馳ル時ハ。水ヲ取テ。枕ノ前ニ閣ベシ。是ハ。悶香ヲ防ンカ爲ナリ。且。北ノ方ノ火坑ニ。煤多クアラバ。是又用心スベシ。是乃。悶香ヲ致ンカ爲。ノ。按排ナリ。水ヲ閣ハ。悶香セラレ。時。面ヲ洗テ。其難ヲ免レンカ爲。ノ。三ナリ。若。船ニ乗バ。乗合竝ニ水手等ニ意ヲ著テ。油斷スルコトナカレ。包。袱アラバ。我前ニ閣キ。水手預ント云。凡。内ニ資財アラバ。預クベカラズ。尤。別事ハアルマ。ジケレ。凡。用心ト云ハ。此。ソ。カ。レ。船中ノ乗合。五人ハ。五國。十人ハ。十國ヨリ出テ。未ダ。一。目モ見サル者。ドモナリ。一。時ノ相見。一。面ノ邂逅ニ。心ヲ傾テ。談語ヲスルコトナカレ。乗合。船ニハ

騙子多クアルソカシ。且船旁ニ頭ヲ出シ。手ヲ出シテ
往チカヒノ船ニ。船擦セラル。ナカレ。走船ノ蓬桅ノ
下ニ立。ナカレ。或ハ蓬ノ角ノ檣倒レ。或ハ蓬ノ手ノ
繩斷ル時。逢ニ打レテ。水中ニ落ル。若難風ニ遇
ナハ驚恐ル。ヲ休テ。預板ヲ覓テ。膝ノ前ニ置ベシ。
若船翻ナハ。此板ヲ抱テ。水面ニ浮メ。江水深シト云
ヘ。凡容易ハ溺レズ。其間ニ援ノ船來ルカ。又ハ岸邊ニ
打寄ハ。得テ一命ヲ脱ルベシ。今時ノ人。只便宜ヲ取
トノミ。圖ルユヘ。早路ハ車馬ノ勞アリトシテ。十カ七八
皆水路ニ蒐テ。船ニ乗ル。コレ大ニ不可ナリ。凡海面ノ
大風ハ。不時ニ起テ。定ル所ナシ。若一タビ風波ニ遇。幸

ニ一命恙ナシト云。凡心神ヲ驚シメシ。疲レ。何ソ唯尋
常ナランヤ。類船ノ内。彼ハ翻リ。此ハ翻サルハ。船ノ輕重
ニ因テナリ。縦一里ノ渡ヲ乗ルトモ。輕キ船ニ乗テ。重
キ船ニ乗ベカラス。重キ船ハ。大風ニ遇時。進退自由ナ
ラスシテ。多ク失アリ。旅ヲスル人ハ。此等ノ事ヲモ。知
ラスンハ。アルベカラス。
○人旅宿ニアル時。心ヲ許ス。ナカレ。今時諸州諸府
ノ商人京ニ上テ。貿易ヲナス者多シ。其中ニモ老江湖
ハ。過。ナケレ。凡新客等ハ。初テ京ノ繁華ナルヲ見テ。
最風流ノ事ニ思ヒ。諸方遊行ノ序。遂ニ青樓翠閣
等ノ地ニ足ヲ留。或ハ行院妓女。或ハ變童戲子ノ流

ヲ。許多喚集。極樂此ニアル心地シテ。盃ヲ飛セ歌ヲ唱
 ヒ。頻テ其色ニ添テ。商賣ヲモ怠リ。晝來子バ夜至リ。
 彼妓女變童ノ泰山ヲ動シ。巨海ヲ翻スノ手段ニ中
 リ。黄金ヲ揮フ。土ノ如ク。白銀ヲ擲フ。沙ノ如ク。彼ヲ
 賞シ。此ヲ惠其登ルヤ。一千仞。旁ヨリ見ル時ハ故郷
 ノ父母社イタハシケレ。茲ニ又衣冠正シキ重祿ノ土主
 君ノ急用ヲ奉テ。京ニ上リ。其用未タ半ハ調ラサル
 ニ。早ヤ許多ノ家人ドモヲ召連テ。旅客ノ主ニ案内
 致サセ。諸方ノ名處舊跡並ニ宮觀寺院等ヲ遊覽
 シ。其順路ニ乘シテ。青樓翠閣多キ街ヲ通り。想スモ
 繁華風騷ノ光景ヲ見テ。却テコレ。天堂カト疑レ。若

此邊ニテ。一盃ヲ傾ナバ。往日ノ鬱氣立處ニ散ズベシナ
 ト付量リ。即チ主ヲ導トシテ。青樓ニ登リ。頻テ酒ヲ
 酌テ。一興初テ生ズル時。主言ヲ辭テ曰ク。如此一座
 ニ花モナク。色モナクシテハ。興ノ興タル至極ノ興ヲ
 得ベカラス。公ノ尊意ハ如何ント問ニ。此土原來此
 望有テ。心ニ眷注スル時節ナレバ。汝ノ云所。余ガ存念
 ノ如シ。汝自ラ會意セヨト。未タ云モテラサルニ。早ヤ粉
 面紅唇ノ妓女洋々然トシテ。座間ニ出櫃ニ甜言蜜
 語ヲ用テ。彼士ヲ哄キ。遂ニ英傑ノ志ヲ奪取テ。懦弱
 ノ客ト變セシム。誠ニ主君ノ急用ヲモ意ナラス。息
 リ。一時ノ興ニ因テ。十日ノ忠ヲ忘レ。士ノ平生ヲ誤

ル。豈亦コレヲ嘆セザランヤ。若京ニ上ン人ハ預メ
青樓翠閣ノ手段ヲ具ニ聞知スベシ。然ラサル時ハ必
彼等カ按排置タル圈套ニ墜入ルナリ

○人朋友ニ銀ヲ借ス時。後不埒ナルモアラバ。我親
キ朋友ノ間ニ在テ。緊クハ催促シカタシト思ヒ。多クハ
人ノ名ヲ假テ借主ト定メ。銀ハ己カ銀ヲ以テ借ス
者アリ。後果シテ埒明ズ。日限延引スルニ及ンテハ。彼
名ヲ借シタル人原己カ銀ニテモアラザレバ。名ヲ借シ
タルユヘ己カ方ヨリ人ヲ馳テ催促シ。身ヲ挺テ敵ト
ナリ。徒ニ尤ヲ恡キ。怨ヲ斂コレ大ニ不可ナリ。若シ
言ノ二ム誤リニ因テ。借リタル人怒ヲ起シテ。爭論ニ及

バ。必定益ナキ事ニ干テ。禍ヲ受ベシ。此時ハ後悔ス
厄晚ラン。若我名ヲ假ント云フ人アラバ。堅ク辭シテ借
ス。ナカレ然ラザレバ。後必ズ禍ヲ我身ニ受テ。徒ニ心
ヲ憐ス。トアリ。又彼銀ヲ借ス人。我資ヲ人ノ資トシ
テ借シ與ル。理ノ當ラサル做法ナリ。斯ムツマニキ事
ナラバ。初ヨリ借スベカラズ。若借ズンバアルベカラサル
ト有テ。黙止カタクバ。強ニ人ノ名ヲ假ズ。即チ我名
ヲ出シテ。借スベシ。是乃チ義ヲ以テ借ス銀ナレバ。借
ル人モ彌其情ヲ感ジ。日限ヲ差ス償ベシ。乃至日限ヲ
過シヌレバトテ。遂ニコレヲ償ノ日アラン。心ヲ留マシ
キ所ニ留テ。無益ノ遠慮ヲナス時ハ。反テ其弊大ナリ

○經營ハ人ハ少ク缺カタキ事ニシテ。皆コレヲナスト云ヘ
凡公ニナス人少ナリ。士農工商都テ經營ニアラスト
云一ナシ。中ニモ商人ハ殊憂其心。公ナラズ。譬ハ米ヲ
買置シ者ハ。米ノ價ノ貴シク欲シ。油ヲ買置シ者ハ
油ノ價ノ加ヘンク欲ス。是乃キ其心ノ公ナラザル
所ナリ。商賣ハ巴カ運ニ任セテ。ナスベシ。今日米ヲ買
置テ。明日利ヲ得ルハ。則造化好處ナリ。損ヲ得ルハ。則
造化惡キ處ナリ。然ルニ私ノ心ヲ以テ。或ハ貴シクヲ
禱。或ハ賤ラシクヲ願ヒ。徒ニ心神ヲ惱スハ。大ニ愚ナ
リ。天道ノ自然ニ由テ。商賣ヲナシ。公ノ心ヲ以テ。造化
ヲ待バ。十カ七八利ヲ得ベシ。縱利アラスト云凡。損ヲ

免ルベシ。又私ノ心ヲ以テ。天理ニ背キ。人ヲ欺取ル如
クニ致ス凡。利ヲ得シ一ハカタクカルベシ。若僥倖有テ。利
ヲ得。一旦盛ルト云凡。子孫必ズ家ヲ喪スベシ。所以ニ
大ニ富ル商人。三代相續ハ少ナリ

第四 戒殺章

○葷ヲ絶ハ。第一ノ好事ナレ凡。人皆絶テ能ス。亦必スレ
モ強テ絶ベカラス。縱魚鳥ヲ吃ス凡。生タルヲ殺サズ
シテ。死タルヲ吃スベシ
○今時戒殺シテ。生タル物ヲ吃サル人モ。多クコレアリ
ト云ヘ凡。眞ノ戒殺トハ云カタク。コレ何ユヘナレバ。彼戒殺
スル人。朋友ニ對シテ云ヤウ。頃ハ鰻鰼多ク見ヘレ凡。我

家ニハ殺生禁斷ナルコトヘ。コレヲ食スルコト能ス。鰻ハ精ヲ補フモノナレバ。何トゾシテ。死タルヲ覓タキ杯ニテ食セシコトヲ望ム。朋友其意ヲ察シテ。早速鰻ヲ覓テ。コレヲ振舞。如此ハ已カテ手ニテハ。殺サズト云ヘ。人ノ手ヲ借テ殺ス。コレ反テ其殺生甚大ナリ。况ヤ其意罪ヲ人ニ歸テ。我ハ免レント欲ス。コレ罪愈重シ。如此人ハ我ハ戒殺セスト思。凡實ハ殺生人ノ棟梁ナリ。

第五 報施章

○暗夜ニ箭ヲ以テ。人ヲ射者ハ。人防コト能ス。刀ヲ借テ人ヲ殺ス者ハ。已カラテ費ス。自ラ巧ナリト謂テ笑フ。而モ造物尤巧ナリ。我暗箭ヲ善スレバ。造物コレヲ還

ニ明箭ヲ以テスレ。凡而モ憂ニ防コト能ス。我刀ヲ借テ人ヲ殺ス。コトヲ善スレバ。造物コレヲ還スニ。自カラテ以テ。我身ヲ殺スニ。而モ憂ニカラテ費サズ。然レハ則人ヲ射人ヲ殺スニ。巧ナル者ハ。實ニ自ラ射。自ラ殺スニ。巧ナルノ三。天報長ルベシ。
○歳水旱ニ逢テ。流離道ニ滿ルトキハ。仁人君子ハ諒ニ皆慈愛ヲ垂然レ。凡虚ク嘆息ヲナスノ三ニアラス。或ノ曰。其有テ俟テ。コレニ與ヘバ。何ノ時力是存シ。何ゾ一ノ口。食ヲ分タサル。一ノ文ノ錢。亦飢ヲ救ヒ命ヲ度ルベシ。若善門開キ難シト云ハ。恐ハ其繼カラン。即チ密ニ錢米ヲ持。流浪ノ民往來スル肝要ノ地ニ於テ。緣

二隨テコレヲ給。老幼殘疾ノ者ニハコレヲ加ヘ各ノタ
 メニセズ。一人ヲ救得ハ是一人施。一日ヲ得ハ是一日
 褻罄ルトキハ止。何ゾ其繼サルヲ慮ランヤ。要ニ最
 貧苦ナル者アリ。久ク富メルハ初貧シ。先キニ貴キハ
 後ニ賤シ。先人ノ體面ヲ顧ルニ自己ノ規模ヲ立テハ
 或ハ凍餓ヲ受ルヲ其ジテ。人ニ向テ言フヲ羞。或
 人ニ告ルヲ以テ益ナシトシテ其心シテ隱シ忍ビ。枵
 腹シテ戸ヲ出テ勉テ飽腹ト稱スル者アリ。囊懸磬ノ
 如クニシテ強支シテ應酬スル者アリ。外ニハ完衣スト
 云ヘ凡家ニハ鼠粟ナキ者アリ。是ニ由テ終日愁煩シ。
 心血耗盡シ毫髮焦枯シ肌膚消瘦シ。語言顛倒ス。至

親コレヲ鄙ンジテ。與ニ伍トセズ。厚友コレヲ厭テ。與
 ニ立談セス。首ヲ垂氣ヲ喪テ。抑鬱シテ年ヲ窮メ。
 氣力衰ヘテ泉下ニ類ル者アルヲ聞見スル者。惟之
 ヲ死生ノ大數ニ委ス。誰カ其錢ナフシテ致セル所ナ
 ルヲ憐シヤ。仁人君子此等ノ事アルニ遇ハ意ニ隨
 セテ餽送ス。法ヲ作テ周恤ス。今ノ人寺ヲ建香ヲ燒
 テ自ラ功德トヲモヘリ。殊ニ知ラス。寺建ストモ佛未
 必シモ露サル處アリ。香燒ス凡佛未タ必シモ飢餓セ
 サルヲ。若此心ヲ移シテ以テ人ヲ濟ハ佛必ズ大
 ニ歡悅ヲ加ヘ福報當ニ百倍ナルベシ

○傲慢ノ人驟ニ通顯ヲ得ルハ天將ニ之人ヲ重ク刑

セントスルカ故ナリ。疎放ノ人進ンテ。富貴ヲ取ル
 ヲ難スルハ。天將ニ曲テ之人ヲ全スルカ故ナリ
 ○古ヨリ倅人志ヲ得テ。權勢アル者。人ヲ怨テコレヲ
 害セント圖ル時ハ。心腹ノ家人ニ仰セテ。暗討セシム。是
 已カ手ヲ下サルユヘ。罪モ報モ輕ント思ヘドモ。反テ
 重シ。家人ハ原怨モ仇モナケレバ。コレヲ殺ントハ。本
 意ナラズト思ヘ。主命背キカタク。已トヲ得スレテ。暗
 討ス。天明トシテ。コレヲ知り。遂ニ報ヲ報シテ。本人
 ヲ亡シ玉フ。暗討シタル家人ハ。已カ手ヲ下シヌト云
 へ。原已カ心ヨリナセシトニアラサルユヘ。報ハ復ニ
 アラサルナリ

○人ノ妻女ヲ犯ス者ニハ。天必ス已カ妻女ニ報ヲ施
 シ玉フ。願クハ人ノ妻女ヲモ犯ス已カ妻女ヲモ犯サレ
 サルヤウニ致スベシ。應報ハ尤速ナリ畏ルベシ
 ○屢愚人有テ。女子ヲ誕生スルト度々ナリ。遂ニ之
 ヲ水中ニ投セリ。救ヲ求ル門ナク。良久フシテ。乃死ス。
 嬰兒何ノ罪アツテカ。此毒手ニ遭ヘル。嗚呼鳥タモ巢
 雛ヲ戀テハ。其心シテ。ヤヲ受。鱒魚ハ腹子ヲ憐シテ
 體ヲ重湯ニ鞠ム物類斯ノ如シ。人何ソ異ナルヤ。日後
 ノ財ヲ吝ニ因テ。目前ノ惡ヲ肆ニス。眼下或ハ困苦ナ
 リ。氏將來或ハ饒裕ナルベシ。殊ニ知ラス。天一一人ヲ生
 スレバ。自ラ一人ノ衣祿アルトヲ。且骨肉ノ天性生アル

者ヲ水中ニ投スルハ哀カナ。反テ其死セルヲ投スル
 タモ。但心ニ於テ忍ビズンハ有ヘカラズ。自是天地鬼
 神ノ其ニ憤所。仁人君子亟ニ宜ク勸戒スベシ。各郡ニ
 育嬰堂アルガ如キハ。是亦天地生ヲ好ムノ意ヲ體ノ也
 ○人一事妥セサルコト有レバ。後來必ス此事ノ累ヲ受。譬
 バ器ニ隙アルガ如キハ。必ス漏試ニ心ヲ留テ之ヲ觀
 ベシ。他ヲ知ルトキハ。自己ヲ知ル

○王孫一飯韓信ヲ王報ユルニ。千金ヲ以テス。今ニ至
 ルニテ。止漂母タルコトヲ知テ絮ヲ水ニ浸シ洗フ 姓氏ヲ
 知ラサルハ。何ソヤ。飯ヲ施ス時。少モ報ヲ望ム心ナ
 ケレバナリ。若レ報ヲ望ンデ而後ニ施サハ。是一味ニ利

ヲ圖テ。仁人君子ノ心ニアラス。但世人ハ澆薄ニシテ。已
 カ便宜ヲ計ルユヘ。恩ヲ施セバ。必ス報アルト云フ以テ。
 善ヲ勸ルノ端トス。然ラサル時ハ。何ヲ以テ。愚人施ヲ
 好ミ善ヲ樂ムノ心ヲ動サンヤ。恩ヲ施スコト有テ。報ア
 ルハ。天理ノ自然求メサレ。能來ル。愚人等ハ未ダ此理
 ヲ知ラサルユヘニ。仁人故ニ陰德陽報ノ說ヲ分明ニ述
 テ。愚者ヲ示シ玉フ。報ヲ望ズンテ施ス者ハ。聖賢ノ
 盛德。君子ハコレヲ以テ。世ヲ濟玉フ

第六 惜字章

○字ハ乃チ天地ノ間ノ至寶ナリ。人ノ功名ヲ成シ。人
 ノ事業ヲ佐。人ノ見識ヲ開キ。人ノ證據ヲ爲シ。思ス

シテ得。言スシテ諭シ。能古今ノ人ヲシテ。千萬年ヲ隔
面ヲ觀テ。共ニ語ラシメ。能天下ノ士ヲシテ。千萬里ヲ
隔手ヲ携テ。心ヲ談ラシム。且古ノ聖賢傳ント欲ス
ルノ心法ヲ傳ヘ。今ノ人ノ記シカタキ瑣事ヲ記シ。往
トシテ。字ヲ頼スト云フナシ。人コレヲ胸ノ内ニ藏シ。置
時ハ盜賊モ偷取ルヲ能ス。豈天地ノ間ノ大ナル至寶
ニアラスヤ。若字紙ヲ以テ。壁ニ糊物ヲ包燈ニ燃リ。
亂ニ用ルヲアラバ。其福分ヲ損サシ。尤尋常ナラシ。
今時ノ人字紙ヲ穢レタル處ニ掃擲テ。少シモ恐レ
ズ。是何ノ心ゾヤ。若人字紙ノ棄レタルヲ拾テ。火ニ
燒ハ。即コレヲ祝シ。願ハ我來生文字ヲ識シメヨト云

ベシ。コレ吾儒ノ文字ヲ敬フ。此ノ如クセズンハアル
ベカラス。然レモ今時ノ儒者ハ反テ自ラ字ヲ輕ニス。
因テ書房ノ外ニ字紙ノ棄タルヲ見ルヲ儘多シ。嗚
呼コレヲ嘆ズベシ。嗚呼コレヲ嘆スベシ。願クハ同志ノ
君子若字紙ノ棄タルヲ見玉ヒナバ速ニ拾取テ。文庫
ノ内ニ貯幸ニ來世ノ資トシ玉ヘ。或ハ板ノ側茶碗ノ
底等ニ文字アリ。是又溝ノ内。濠ノ中ニ棄タルヲ見ル
コレヲモ拾取テ。火中ニ投時ハ。字ヲ敬ノ德彌廣シ
テ。必ズ子孫ニ聰明ノ者出生ス。凡筆ヲ下シテ。字ヲ
書ニ。若人ヲ誣キ。人ヲ害スルノ字ヲ書時ハ。其報子
孫ニ有テ。必ス賸聾ノ流出生ス。只宜クコレヲ慎コレ

ヲ惜玉へ

○字紙ヲ惜ベシト勸タル書ハ古今コレ多シ。然レ凡。人未ダコレヲ信ゼズ。若福ヲ得シト思フ人公途中ニテ字紙ノ棄タルヲ見ハ僕ニ仰セテ拾取シムベシ。僕ヲ連サル人ハ自ラハ拾カカランコレハ恨ル所ナシ。然レ凡隨分意ヲ著テ自ラモ拾如クニ致ハ福遠スシテ至ルベシ。福至スト云凡禍ヲ免ルベシ。昔人有リ石橋ノ上ニ渡リカリ不圖後ヲ顧ケル處ニ橋ノ東ノ穢レタル處ニ字紙棄アリシカバ心ノ内ニ然ラサルコト思ヒ再立回テ字紙ヲ拾取シ時俄ニ地震シテ其橋崩レタリ。彼人若立回テ字紙ヲ拾ズンバ橋ニ打レテ死スベケレ凡字紙

ヲ惜好心有テ其橋ヲ離シユへ不思議ニ禍ヲ免レタリ。是皆自然ノ報ナリ

○字紙ヲ惜ニテ報ヲ得シ人ハ其數ヲ知ラス。即チ此書ヲ編シ人親見タルコトヲ此書ニ載テ曰其比梁谿ト云處ニ一個ノ人アリ。一人ノ貧僧ヲ招キ僧若人ノ棄タル字紙ヲ拾テ毎月持參シ玉ハ我其禮トシテ毎月米三斗銀三錢ヲ送ント云ケルニ僧悅シテ其意ニ應シ。毎月字紙ヲ拾テ其家ニ持參シ米ト錢トニ換ケル此人自ラモ途中ニ於テ字紙ヲ拾フ七八年過テ後父カ七十歳ノ太誕ノ日ニ當リ。即父カ壽ヲ賀シテ其拾集シ字紙ヲ水邊ニテコレヲ焼其灰ヲ

モ人ニ踐セテハ。恐アリトテ。水中ニ棄タリ。其後彼僧ハ病死シケルユヘ。別ニ又人ヲ托テ。字紙ヲ拾セ。始終怠ルコトアラザリケル。此人後脹滿ノ病ヲ得テ。コレヲ治スルコト能ス。遂ニ死ヲ致シヌ。此ニ一ツノ不思議アリ。此人ノ魂途中ニ於テ。彼先ニ死タル僧ニ遇フ。僧問テ曰。近日恙ナキヤ。此人答テ曰。我頃ハ脹滿ノ病ヲ得テ。已ニ危急ニ在リ。彼僧又曰。幸此邊ニ藥ヲ施ス道人アリ。同往シテ遇シメントテ。遂ニ引テ。道人ニ見エ。此人ハ平生字紙ヲ敬フ。願クハ藥ヲ施シ玉ヘト云ケレバ。道人丸藥三粒取出シテ施シケル。此丸藥香芬々トシテ尋常ノ藥ト同ジカラズ。此人悦テ。コレヲ

吞ケレバ。忽然トシテ甦。眼ヲ開テ左右ヲ見ルニ諸ノ親類各聲ヲ立テ滄哭ス。此時滿室ニ藥ノ香アリ。病人親類共ニ對シテ。委細ヲ語り。橄欖湯ヲ乞テ。數碗飲ケルニ。忽小用多ク通シテ。病本復セリ。是乃此書ノ作者親眼ニ見テ。古ノ事ニテモアラス。若命ヲ延シ病ヲ却ント欲スル人ハ。必ス字紙ヲ敬フベシ

第七 防患章

○酒ハ身ヲ顧ス。色ハ病ヲ顧ズ。財ハ親ヲ顧ス。怒ハ命ヲ顧ス。人未ダ此場ニ至ラザル時ハ。自ラ能コレヲ知テ。人ヲモ勸ト云ヘ。一タビ此場ニ至ル時ハ。心忽チ迷昏シ。顧ルコト憂ニナシ。預メ堅取リ守テ。此病ヲ却

ケ慎三防フベシ

○命富貴ニ應ズル人ハ好事忽然トシテ至リ。無意ニシテ受。諸事自ラ相合フ。才智ノ巧ナル所ニアラス。命貧賤ニ應ズル人ハ事將ニ成ントシテ敗レ。此ヲ得レ。厄彼ヲ失ヒ。每事自ラ相違ク。才智ノ拙キ所ニアラス。亦命ヲシテ。順ニ處セシムル者ハ。自ラ其能ニ誇ス。逆ニ處セシムル者ハ。怨ヲ結ビ。怒ヲ挾ミ。不測ノ患ヲ生ズ。

○人ノ一生ハ。命ニ定ルト云ヘ。厄命ハ心ニ由テ立者ナリ。今ノ人多ク財貨ヲ生ズル時ハ。此只命ナリトシテ。少年ノ者共ニ告テ曰。人ノ一生ハ貧富都テ命ニ

アリ。汝等縦天下ノ書ヲ讀盡シテ。聖人ノ道ヲ知ル。厄命好ズンバ。立身ハアルマジ。只命ヲ守テ。心血ヲ費ス。一ナカレト。諫ルユヘ。少年ノ者共。此言ヲ信ジ。學問ヲ怠リ。商賣ヲ怠テ。自ラ一生ヲ誤ル者アリ。コレ大ニ不可ナリ。古ノ諺ニ富貴ヲ生セント欲セバ。須ク死ノ工夫ヲ下スベシト云フアリ。况ヤ昔。秦皇。漢高。初ハ只命ノ三ニ拘テ。諸事ヲ怠リシニ。後雲谷禪師ノ示ヲ得テ。命ハ心ニ由テ立ト云フヲ知リ。堅固ニ善事ヲ行ヒシユヘ。果シテ高官ニ登テ。子孫繁昌セリ。是命ト云ンヤ。心ト云ンヤ。余熟コレヲ思フニ。善事ヲ行フ時ハ。命凶ナリト云ヘ。厄吉ニ變ジ。惡事ヲ

行フ時ハ命吉ナリト云ヘ凡凶ニ變ズルナリ。只命ノ
三ニ拘テ。善事ヲ行ハズンバ。一生ノ誤リコレヨリ
大ナルハナシ。故二人相ノ書ニ曰。人相ハ心相ニ如ス。
是亦善事ヲナス時ハ。惡相變ジテ善相トナリ。惡事
ヲナス時ハ。善相變ジテ惡相トナル謂ナリ。必ス命
ニ拘テ。自ラ怠ルコトナカレ

○少年ニシテ。立身スル者ハ。必ス久シカラスト云説ア
リ。是何ユヘナレバ。少シテ立身セシ者ハ。諸事容易事
ニ思ヒ。動スレバ。做事忽ニシテ。世路ノ險ヲ知ラス。
自ラ驕傲テ。怨ヲ招キ。禍ヲ致ス。凡ソ早ク榮シ人ハ
未ダ艱難ヲ經サルユヘ。金銀米錢ヲ輕キ物ニ看做シ

意ニ任セテ。使掉ルユヘ。久シカラズシテ敗レアリ。若艱
難ヲ經テ。遅ク立身シ。遅ク榮ユル人ハ能其味ヲ知
テ。金銀ヲ重ニスルユヘ。身ヲ終マテ敗レナシ。縱早ク立
身スト云フトモ。能此道ニ通達シテ。諸事儉ニ致ハ
何ノ險ヲカアラン。所以ニ賢者ハ必ス競々トシテ。英
雄ハ必ス小心ナリ。願クハ早ク榮ユル人。此言ヲニタ
ビ復シテ。忘玉フコトナカレ

○草野ノ小民。檀ニ上ノ政ヲ評議スルコトナカレ。若其
地頭民ヲ苦ルコトアラバ。自ラ謗ヲ取テ。自ラ敗ヲ致ス
ベシ。然レモ又民自ラ地頭ヲシテ。民ヲ苦しムル者アリ
是ヲ如何ント云フニ。民私ニ矜テ。上納ヲ奉サル時。地

頭コレヲ催促ス。コレヲモ地頭ノ民ヲ苦ルト云ンヤ。民私ニ地ヲ開テ。コレヲ耕シ。コレヲ鋤。其上納ヲ奉サル時。地頭コレヲ知テ。民ヲ恨速ニ上納ヲ奉レト催促ス。コレヲモ。地頭ノ民ヲ苦ルト云ンヤ。民私ニ網ヲ以テ。禁制ノ地ニテ。殺生スル時。地頭コレヲ罰ス。コレヲモ。地頭ノ民ヲ苦ルト云ンヤ。民私ニ人ヲ聚テ。博奕スル時。地頭コレヲ責コレヲモ。地頭ノ民ヲ苦ルト云ンヤ。此等ノ事。總テ民自ラ犯シテ。地頭ノ責ヲ被ル。然ルニ今時ノ民。己カ罪ハ疾東海ニ流シ。只上ノ政ヲ擅ニ評議シ。我郷ノ地頭ハ。法度頗ニ緊クシテ。民ヲ苦ル。其甚シ。畢竟我輩カ不幸ナリト云テ。恨ミシキ。

ヲ悵。嘆マシキ。一ヲ嘆。是乃千民賊トスル者ニシテ。必ス上ノ禍ヲ惹出ス。一アリ

○安キ時危ヲ念レバ。必ス多ク事ヲ償ル。此孟子ノ所謂安樂ニ死スト云者ナリ。安キ時危ヲ防ハ。必ス多ク事ヲ成ス。此孟子ノ所謂憂患ニ生スト云モノナリ。人ハ必ス戒慎恐懼シテ。而後ニ君子トナル

第八 訟事章

○小忿忍ズシテ。訟ヲ興スニ至ル。訟ニハ必ス師アリ。師ハ争アルヲ利トシテ。息ヲ利トセス。總ジテ訟ヲナスハ。或ハ金銀借シ借リノ上。或ハ争論理非ノ上。コレヲ忍ズシテ。官府ニ訟。自ラ費ヲナス。一若許ニ

シテ全ク利ヲ得ンヲ求レド。上ノ決斷公ナルコトヘ。
一タヒハ利ヲ得。一タヒハ利ヲ失ヒ。畢竟損多クテ益
少シ。彼師カ智ヲ頼トシテ。訟ト云ヘド。十倍ノ費ヲ
ナシ。事敗レテ。收拾スベカラサルニ及テハ。而モ且ダ
主人ニ歸シテ云。某カ謀ニ從ハズ。某カ手ニ順サレ
バ。我尤ニアラスト云。總テ訟ヲ好ムノ人ハ。其家必ス
破ル。後ニ悔トモ益ナシ。

○人ヲ勸テ。訟ヲ息シムル者ハ。君子ナリ。人ヲ激シテ
訟ヲ起サシムル者ハ。小人ナリ。其本人ハ原訟ヲ起ス
ノ心アラサレド。人ノ爲ニ激セラレテ。訟ニト欲スルノ
心起リ。頻テ小事ヲ以テ。大事ニ變セシム。又少シ注

張アル人ハ。息識アル親友ニ問テ。議ヲ決シ。訟ヲ息ル
者モアリ。凡ソ訟ヲ好ム者ハ。十人カ八九人光拮ニアラズ
ト云フナシ。又人ヲ唆テ。訟ヲ起サシムル者ハ。即チ光拮
ノ誦ナリ。何レノ國ニモ如此。惡人自然ニ有テ。上ヲ
輕シ。下ヲ欺ク。豈コレヲ懺サランヤ。

第九 火燭章

○水火ハ原無情ノ物ナレド。人コレヲ。忽ニスル時ハ。莫
大ノ患生ス。殊ニ火ハ烈シテ。其害ヲナス。甚シ。假
如バ冬ノ冷ナル時分ニハ。每家ニ火坑ヲ設。衣服ヲ
烘リ。手足ヲ烘リ。夜ノ憂ルモ知ラスシテ。其中ニ睡ル
コト覺ズ。其火ヲ踐散ジテ。火災起ル。又彼懶惰ナル

奴僕等。火爐ニ火ヲ種テ未タ窓ノ戸ヲモ關ス。覺ズ
臂ヲ枕トシテ熟睡ス。豈料シヤ。俄ニ一陣ノ風起リ。
直ニ窓ノ内ニ吹入テ。其火ヲ吹散シ。遂ニ舞馬ノ難
出來ス。凡ソ燈燭ノ火星煙草ノ餘灰爐中ノ火炭。竈
下ノ火種都テ能舞馬ノ難ヲナス。第一コレヲ慎ヘシ
○凡ソ桐油雨傘油紙油篋ノ類收藏スルコト全ク心ヲ留
ニシテ要スベシ。聞クニ此物貯置テ日久シケレバ。竟ニ能ク
内裏ヨリ火ヲ生ジテ。自ら家ヲ灼者アリ。亦且日久
シク水ヲ汲サル舊井ニハ内ニ必ス毒氣籠ル。若コレ
ヲ知ラント思ハ、鳥ノ糞ヲ落シテ試ベシ。其羽底ニ落
スレテ。中ニ在テ舞バ。内ニ毒氣アルト知ルベシ。

○凡ソ火ヲ滅スノ具類種々コレアリト云ヘ凡ソ水鏡ニ
過タル物ナシ。水鏡ヲ用ル時ハ。其利遠キニ及ブ。況ヤ
對面ノ家ニ火起ル時。我家ノ蓋ノ上ニ在テ。水鏡ニ
テ防ク時ハ。遂ニ其火ヲ近カシメズ。尤水鏡ノ内ノ
水ニ少シ油ヲ加ヘテ放時ハ。其水ニ中リタル火滅セ
スト云フナシ。コレツノ秘法ナリ

第十 飲食章

○河鮑魚ハ其味美ナリト云ヘ凡ソ本草ニモ太毒アリト載タリ。誠ニ古今ノ英雄豪傑トモ。此魚ノ毒ニ中テ。非命ノ死ヲシタル者。其數ヲ知ベカラス。然レ凡ソ味鮮美ナルニ因テ。人皆コレヲ食ス。此魚ヲ煮時ハ

金ノ釵ヲ鍋ノ内ニ入レテ。其毒ヲ化スベシ。若然ラズ
ンバ。燈草ヲ投レテ。其毒ヲ試ベシ。或ハ預甘蔗ヲ備
テ以テ害ヲ防ケ。如此危キ毒魚ヲ食シテ。口腹ヲ
養ヒ。性命ヲ輕ズルハ。不孝不忠ノ輩ナリ。其人ノ他
事モ嘸ト例シテ知ルベシ

○酒ハ歡ヲ合スベク。亦鬱悶ヲ舒ルニ堪タリ。婚喪慶
祭。ミナ酒ニアラサレバ。禮ヲ成テ能ス。此外美景良
辰花朝月夕酒ナキ時ハ。其興ヲ虚ス。古今酒ヲ以
テ。情ヲ陶シメ。興ヲ求ル者多シ。亦性ヲ亂シ。身ヲ
亡ス者モ鮮ス。酒ハ原前賢一時ノ豪舉ニシテ。今ノ
人ノ終日沈湎スル爲ニアラス。然ルニ末世ノ男女酒

ヲ好ム。醜ノ血ヲ見ルガ如クニシテ。太醉ニ及ブ時ハ。其
害甚シ。且一升ノ米ヲ飯ニ煮時ハ。飯量小キナル者ハ。
三たびニ食ス。一斗ノ米ヲ酒ニ作ル時ハ。酒量大ヒナ
ル者ハ。一度ニ飲ム。此費豈計ヲ以テ殫ンヤ。古ノ人酒
ヲ飲ムニ限アルヲ好トセシ。良ニ次アルナリ

○酒ハ能人ヲ傷フ。古ノ人々ニ。下醉ノ上ニ。身ヲ殫
シタル者多シ。況ヤ今ノ人ヲヤ。凡酒ヲ好者終日醜醜
シテ。宿酒未々醒サルニ。又新盃ヲ進テ。只顧太酒ニ及
故後ニハ内傷ノ疾ヲ生ジ。遂ニ酒ノ爲ニ。一命ヲ害セ
ラル。若此弊ヲ慮ラスンバ。後悔立處ニ至ルベシ
○酒宴ノ座ニ。同客多キ時ハ。各意ヲ留眼ヲ著テ

慎^シべん。必^ズス太^ク醉^シニ及^リンテ。座^ヲ亂^スフナカレ。尤^モ酒^ノ宴^ノ
座^ニテ忌^ムフ數^條アリ

遙^ク來^テ禮^{ナク}。人^ノ上^ニ坐^{スル}フナカレ

已^カ興^盡テ。人^{ヨリ}先^ニ圓^ルフナカレ

盃^ヲ手^ニ持^テ。長^ク言^フフナカレ

灑^{タル}酒^ヲ安^ニ去^ルフナカレ

人^ノ盃^ヲ取^テ。コレ^ヲ飲^フフナカレ

人^ヲ顧^ズシテ。我^レ一^人興^ヲ現^スフナカレ

貧^ヲ告^テ。人^ノ興^ヲ妨^ルフナカレ

亂^ニ肴^ヲ吃^{スル}フナカレ

我^飲ズシテ。人^ヲ強^ルフナカレ

亭^主ヨリ先^ニ盃^ヲ新^ルフナカレ

勸^退ノ上^ニテ。言^ヲ多^{スル}フナカレ

淺^量ハ初^{ヨリ}辭^退スベシ

亂^醉シテ。人^ニ衝^撞スル^フナカレ

人^興アラハ。我^モ興^{アル}ベシ

人^歌ハ。我^モ歌^{ベシ}

音^律ヲ知^ラズシテ。安^ニ褒^賤ヲ加^ルフナカレ

席^ヲ同^シテ談^セス。席^ヲ隔^テ。貴^キニ攀^ルフナカレ

醉^客ヲ調^弄ジテ。傀^儡ヲ拏^ルカ如^{スル}フナカレ

脣^ノ粗^糲ナルヲ嫌^テ。唇^ニ入^レガル^フナカレ

形^ヲ裸^ニナリ。頂^ヲ露^シテ。豕^ノ如^クニ飲^ム。狼^ノ如^ク

クニ吞^ムコナカレ
席ノ邊^{ホトリ}へ酒ヲ吐^{ハキ}。四座ヲシテ厭^{イヒ}惡^ク心ヲ生^ムゼシム
ルコナカレ

第十二 輕生章

○痴人愚^カ女一旦^ツ心ニ稱^カカルコ出來スル時ハ晝夜コレヲ憂^ウテ。飲食ヲモ忘^{ワス}レ。到^ト頭^{トウ}心亂^ミレテ。自害スル徒^{タカ}モアリ。是^{コト}皆^ト遠^{トウ}計^ケヲ知^ラズシテ。只^シ愚^カ直^チナルユヘナリ。若^シ心ニ稱^カカルコアラバ。反^タテ能^ヨ身ヲ養^ヤヒ。預^ヨメ病^ヤノ生^ムゼシコトヲ防^ガキ。其^ノ後^ニ工夫思慮ヲ加^ヘテ。其^ノ事ヲ分別シ。種々^シ方^フ優^クヲ替^カテ。見識アル人トモ。商議ヲナサバ。何ゾ脱^ダルコトヲ得^{コト}サランヤ。我^レ嘗^カテ世間ノ人ノ自害シタル

故^ニヲ聞クニ。義ニ死シ。節ニ死スル如キ者ハ十人ノ内ニ一人モコレアラス。皆^レ己ガ愚慮ニ惑^マサレテ。死ヲ非命ニ致^スノミ。若^シ此者共^ニ見識アル人ニ就^ツテ。其^ノ智ヲ借^リテ。非命ノ死ヲ免^ルコト必然ナリ。凡^ソノ懵^{モウ}懂^{トウ}ノ男女。死生ノ難^カコトヲ未^タ々^々分明ニ知^ラサルユヘ。一^ト時^ニノ血氣ニ乘^リテ。自^ラ誤^リルナリ戒^ムベシ

○古今利欲心深キ人ハ。祖父ノ家督ヲ得^テ。眷族容^ヤ易^ク養^フト云^フヘ。厄^ト多^ク財ヲ貯^メシ。妻^ノ子ヲ棄^テテ。遠^ク國^ニ赴^キ。或^ハ巨海ヲ過^スキ。高山ヲ越^ス。或^ハ深淵ヲ渡^リ。荒野ヲ經^ル。艱難ノ商賣ヲナシテ。利ヲ貪^リ。終^ニハ客路ニ於^テ。身ヲ殞^ス。如此人ハ。利ヲ重^シシ。生^ヲ輕^シ

スルトシテ。古人ノ慮所ナリ。況ヤ命中ニ定マル所ノ福分各限リアリ。縦天ニ登リ。地ヲ鑽リテ。大福ヲ求ムトモ。豈能コレヲ得ンヤ。若大福ヲ求ント欲セバ。只陰德ヲ積テ。天ノ報ヲ待ベシ。我ニ於テ。其報アラズ。必ス子孫ニ福アラン。智者ハ能此理ヲ曉シテ。險ヲ行ハサルナリ。

第十三 婦道章

○婦人女子ニ。三從四德ヲ明メル者十人ニ。一二人モナシ。ハ父母ノ膝下ニ在テハ。己ガ性情ニ任セテ樂。子ニ歸テノ後。優賢愚ヲ見ル。貧家ノ婦女ハ紡績炊爨井臼農庄シ。姑ニ事ヘ兒ニ哺メ。勤勞終日ス。獨是富

貴ノ女子ハ室ニ在ル時ハ。兩親命ヲ受テ出嫁スル時ハ。夫家ノ安樂ヲ享テ。高堂大厦ニ住。飲食ハ美味時々ノ鮮モノ多ク。身ニハ綾羅錦繡珠翠ヲ穿キ。三兒女ヲ誕生スレバ。乳媪アリテ。抱キ生長。針線ノ事ハ。婢妾命ニ應ジテ承テ務ルヲアリ。一家ノ務總テ心ニ經營セズ。庖厨ノ食物一ツトシテ。切刻一ニ關ス。故ニ驕傲ノ性ヲ醸成シテ。惟一身ヲ粧ヒ飾リ。清晨ニ梳リカ。リテ。午刻ニ至テ方ニ完シ。猶未タ善ナラスト云テ嫌。事々心ニ稱カ故ニ。竟ニ米ハ稱ヨリ出。絲ハ蠶ヨリ抽。一ヲ知ラス。錢財ヲ視テハ糞土ノ如シ。物命ヲ以テ草芥ノ如ス。若性質淳良ノ者

ハ尙公姑ノ訓。丈夫ノ言ヲ聽入ル。間一等驕悍ノ婦
人アリテ。理法ヲ知ラス。因果報應ヲ信セス。公姑丈
夫ヲモロシ開テ。散々言傷。侍妾婢女ハ終朝打擲
シ。悪口ス。丈夫コレヲ憂テ。妻ヲ逐出サント欲スレ。凡
兒女前ニ滿。姻親羅列スルカ故ニ。出遣モ何如警戒
ニハ從ス。大義ヲ以テ。數責教レハ。彼反テ生命ヲ輕
ンシテ。夫ヲ恐レシム。是皆頑妻子ヲ逆ルニ由テナリ。哀
哉無法可治

○從來忠臣孝子ト貞女節婦ト並傳ス。忠臣孝子ハ
固ヨリ有リ難シテ。貞女節婦更ニ有リ難キヲ知ラ
サルハ何ヤ。忠臣孝子ハ男子ナリ。書ヲ讀ニテ理ヲ

明メ。君親ノ大故ニ遇テ。慷慨トシテ。義ニ赴クハ見聞
ニ出ヅ。貞女節婦ノ若ハ。閨閣女流ニ遇ス。女箴婦訓
未タ必ス通曉セス。一旦夫死亡スレバ。柏舟志ヲ矢フ。
身ヲ終ルマテ節ヲ守ル。豈更ニ難キニアラスヤ。毎ニ
世俗ノ論ヲ見ルニ。嘗テ譖リ婦寡ニシテ。子アリ。産
アル者ハ諒ニ再ビ嫁セス。而モ子ナク産ナキ者ハ。
自ラ節ヲ改ムベシ。又譖リ子ナク産アル者ハ。當ニ
賢ヲ擇テ。以テ後ヲ嗣ベシ。子アリテ。産ナキ者ハ。遺
嬰ニ所ヲ得セシメ。亦其婦ハ去留ニ聽ス。人情ヲ
體ベキ一是ニ極レリ。然凡人情ニ近シテ。而モ未タ理
ニ近ス。益婦女ハ家ニ在テハ。父ニ從ヒ。出嫁シテハ

夫ニ從ヒ。夫死シテハ子ニ從フ。ニツノ中一ツニ從ツテ
身ヲ終ルハ。千古不易ノ常道ナリ。豈其子アリ。産ア
ルニ因テ守リ。子ナク産ナクシテ。遂ニ嫁スベケンヤ。
常ニ子ナク。産ナキ者ヲ見ルニ。公姑異見シ。飢寒逼
迫シ。刀兵水火ノ責ヲ受ト云ヘ。死ニ至ルニテ變
セサル者アリ。又子アリ。産アル者。家貲饒裕ニ。兒長
シ。女大ナレ。一旦嫁セント欲スルガ故ニ。兒女哀
ンテ。衣ヲ牽。號泣スレ。挽留ルヲ能ス。然レバ貞節
至性ヨリ發スルヲ見ルヘシ。豈身外ノ物。得テ轉
シ移ス所ノ者ナランヤ。所以ニ旌ニコレヲ褒重シテ。
以テ世俗ヲ獎勵ス。

